

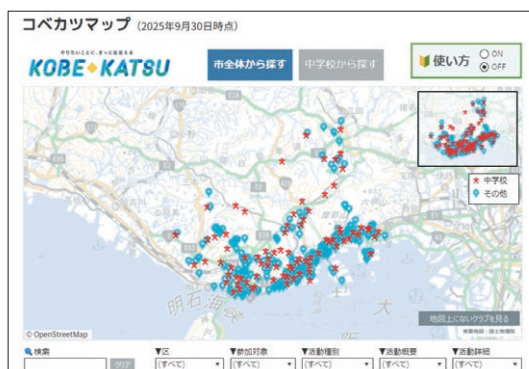
部活動から「KOBE◆KATSU」へ

本市では、2026年9月から中学校部活動にかわって、子供たちがやりたいことに主体的に参加する「KOBE◆KATSU(コベカツ)」を開始するための取組を進めています。

コベカツマップ公開中！

第2次募集までに登録した1,000以上のコベカツクラブを簡単に検索できる「コベカツマップ」を公開しています。ぜひご覧ください。

- ❗ 区、活動種目、フリーワードなどで検索可
- ❗ コベカツクラブ名をタップし、
- ①「経路」とタップすると、Googleマップで実施場所までのルート検索ができます。
- ②「詳細を見る」をタップすると、活動曜日・活動時間の一覧が表示されます。



10月には、中学1年生を対象に、参加したい活動等についてアンケートを行いました。この結果を踏まえ、コベカツクラブの第3次募集を実施しています。今後も活動団体の確保・活動の充実を図っていきます。コベカツについて分からないことや不安なことがあれば、教育委員会事務局や学校の先生へ相談してください。

コベカツ実証事業を実施しています

校区を越えた移動や、生徒の時間の過ごし方の変化などの検証を行っています。これまでの部活動にはない種目を中心に18のクラブが活動しています。



● Base Camp MAYA

海と山に近い神戸の自然を楽しむ登山クラブです。登山歴30年を超える経験豊富なメンバーが安全に楽しく指導しています。9月28日の体験会では、摩耶ケーブル虹の駅の少し先、摩耶花壇の跡地で折り返すルートを歩きました。お天気にも恵まれ、とても気持ち良く、神戸の自然に触れました。



《活動内容》登山(月1～2回)、山のあれこれを学ぶ会(月1～2回)。キャンプ飯やテント体験も！

● こども編集部

地元企業や団体、行政と協同し、取材や制作など、さまざまな活動を行っています。体験会では、現役メンバーと対話系ワークショップやゲーム形式の取材体験を楽しみました。みんなの「やってみたい!」を大人が全力でサポートします。

《活動内容》取材、写真、動画制作、デザインなど(週2回)



国際都市神戸の英語教育 ～世界とつながる子供たちに～

グローバル社会で活躍していくためには、異なる文化・価値を尊重しながら、互いの考えを伝え合える実践的なコミュニケーション能力の育成が必要です。本市では、ALT（外国語指導助手）との交流等を通して、子供たちが生きた英語に触れ、伝え合うよろこびを実感することで、確かな英語力を育てる取組を行っています。

神戸の 英語教育 の特色

13カ国約200名のALTが在籍し、全校に配置。

◎ALTとの協同授業で、実践的な英語力やコミュニケーション能力を育成します。

◎授業以外でもALTとの交流で、日常的に異文化と英語に触れることができます。

◎多国籍のALTとの体験プログラムを通して、多様な文化への興味・関心を高めます。

●ALTとの協同授業 《小・中・高等学校》

小学校では、1年生からの英語活動を含め、すべての外国語授業を協同で実施（神戸市独自）。



教員とALTが連携し、子どもたちの「伝えたい」「話したい」を引き出す授業を展開。英語を使う楽しさと自信を育てます。

●ワールドスペース 《小・中学校》

各校に、ALTの出身国を中心に、海外の有名な場所や食事など、文化に触れることができるコーナーを設置。海外に関心を持つとともに、ALTとの対話のきっかけにも。



●One World プログラム 《小学校1・2年生》

ALTや外国にルーツを持つ地域の方が講師となって、海外の暮らしや文化を日本語で紹介。

英語圏に限らず、アジア・中東などさまざまな国の人の話や遊びの体験などから、異なる文化に気づき、興味を持つきっかけに。



●イングリッシュデイキャンプ/キャラバンプログラム 《小・中学校・高等学校》

さまざまな国の多数のALTが学校を訪問。英語を使った外国の生活の疑似体験やアクティビティを通じて交流し、自分の思いや考えを英語で伝えます。

●サマースクール 《中学校》

夏休みに神戸市外国語大学で開催。ALTが企画するプログラム（1対1での英会話、クイズ、ゲーム等）を通して、英語コミュニケーションの楽しさを実感。



参加生徒の声

- ・言葉が完璧じゃなくても、ジェスチャーや単語などで通じ合えることを知り、世界が広がった気がした。
- ・ALTの先生と1対1で会話できるのが楽しかった。
- ・相手に英語で伝えるのが難しかったけど、その分、英会話力が身についたと思う。

●神戸イングリッシュ・フェスティバル 《中学校》

今年は13校から中学生が集まり、英語でプレゼン！他校の生徒やALTとの英語での交流も。優秀校には教育長賞などが贈られます。

参加生徒の声

- ・他校のプレゼンを聞き、自分では思いつかない考えを知れた。
- ・英語を使う楽しみを他の人に伝えていきたい。
- ・国際社会で求められる人材になりたいと、より強く感じる事ができた。

スタンフォード大学とのオンライン教育プログラム《高校》 ～Stanford e-Kobe Program～

市立高校では、スタンフォード大学（アメリカ）と連携したオンラインプログラムを実施しています。さまざまな社会問題をテーマに、授業やディスカッション、プレゼンテーションを全て英語で行うことで、語学力を磨くだけではなく、グローバルな視点や論理的思考力を身につけます。

今年は葺合高校や六甲アイランド高校等から25名が参加しています。最優秀者2名は、アメリカの現地キャンパスでの受賞式に招待され、発表や交流を行います。



参加生徒
の声

コミュニティ・スクールの推進に向けて

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校運営にあたって保護者や地域等と連携し、地域全体で子供たちの学びや成長を支える重要な仕組みです。保護者や地域の方が学校運営協議会の委員となり、教員と一緒に育てたい子供の姿を共有し、実現のために知恵を出し合い実践するなど、学校と地域をつなぐ役割を果たしています。

今回は、須磨区の東須磨小学校の取組を紹介します。

東須磨小学校 授業×資源リサイクル活動

コミュニティ・スクールの活動として保護者・地域の方が実施している資源リサイクルの取組を、子供たちが授業で学んでいます。また、得られた収益の使い道やルールを子供たち自身が考えることで、学習が深まるとともに、主体的に考えて活動する機会になっています。

4
年生

資源リサイクル活動を学ぶ

社会 くらしとごみ

国語 調べて話そう、生活調査隊

- 社会の「くらしとごみ」の単元の中で、資源リサイクル活動について地域の方から学ぶ
- 保護者や地域の方へ、学習成果を発表する

5
年生

資源回収の収益の使い道を考える

国語 よりよい学校生活のために「あなたはどうか考える」

- みんなの笑顔を広げるために、保護者や地域の方も参加して、アイデア発表会を行い、使い道を決定
- みんなで大切に育てて収穫できるイチゴの苗と、室内遊びで使えるカードゲームなどを購入



6
年生

ルールづくり・実践

- 協力してイチゴの苗のお世話をし、たくさんの実を収穫
- みんなで仲良く使えるよう、カードゲームなどの使い方を決める



●「コミュニティ・スクール活性化フォーラム」を開催

8月27日に、総勢460名の学校運営協議会委員・教職員が集まり、東須磨小学校・上野中学校の取組事例の発表や意見交換を行いました。参加者からは、「たくさんのヒントが得られた」「自分の学校でもできるところから始めていきたい」といった意見がありました。



人権週間がはじまります（12月4日～10日）

いじめや虐待、障がいのある人や外国籍の人への偏見、性的マイノリティへの差別など、さまざまな人権課題があります。こうした課題を「自分のこと」として考えることが、共に生きる社会への第一歩です。この機会に「人権」について考えてみましょう。

各学校では、人権週間にあわせて、人権作文を読んだり、「やさしい日本語」について学習したり、点字を体験するなど、さまざまな取組を行っています。

また、一部の学校では、スポーツを通して人権を学ぶ「スポーツ人権教室」も実施しています。



人権啓発動画
「『誰か』のこと
じゃない。」



スポーツ
人権教室

インフルエンザ等の感染拡大の防止

気温が下がり、空気が乾燥する冬は、インフルエンザが流行する時期です。また、新型コロナウイルスなどの感染症も発生しています。ご家庭でもマスクの着用や手洗い、定期的な換気などの対策を行うとともに、健康管理に気を付けていただき、普段と異なる症状が見られる場合には、早めに受診をしましょう。インフルエンザの予防方法や市内の感染症の発生状況は、市ホームページをご覧ください。



ここをクリック!

インフルエンザの予防方法など

●小児インフルエンザ予防接種料の一部補助(生後6か月～12歳)

本市では、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、接種料の一部を補助しています。予防接種による効果と副反応をご確認のうえ、接種をご検討ください。



ここをクリック!

インフルエンザ
予防接種料の
一部補助

●学校園での感染流行時の対応

各学校園で学級閉鎖等が生じた場合には、感染状況に応じて以下のような対策を行うことがありますので、ご理解・ご協力をお願いします。

① マスクの着用

教職員がマスクを着用したり、児童生徒にも必要に応じて着用を促すことがあります(強制はしません)。

② 感染リスクが比較的高い活動の制限

グループワークや合唱などでは、近距離・対面・大声での会話・発声を控えます。

③ 密集の回避

室内での集会や人が密集する行事は、できるだけ避けます。

④ 学校行事での配慮

参加者に手洗い・咳エチケットを推奨し、可能な範囲で距離を確保します。

⑤ 給食時の配慮

食事中は、「机を向かい合わせにしない」「大声での会話を控える」ととし、飛沫に気を付けたうえで食事を行います。



information

■神戸モデル標準服

市立中学校では、市内共通の「神戸モデル標準服」を導入しています。学校独自の制服と神戸モデル標準服を選べる学校もあります。詳しくは市ホームページをご確認ください。



ここをクリック!

●着用できる商品(シャツ・ニット類・ネクタイ・リボン等)は、学校によって決まっています。詳しくは各中学校まで。

●ブレザー等の素材には、ウールとポリエステルがあります。詳しくは販売店まで。

●購入方法は、各中学校からお知らせします。



■公立高校等の入試がWEB出願になります

出願登録や訂正だけでなく、考査料の支払い、志願変更、受検票取得、合否結果の確認等が、スマートフォンやパソコンからできるようになります。



ここをクリック!

対象：県立及び市立高校(現中学3年生)
県立芦屋国際中等教育学校(現小学6年生)

■就学援助は年度途中でも申請できます

お子様が小学校・中学校に在籍しており、教材や給食の費用にお困りの家庭に援助を行っています(所得要件あり)。失業や年収減少で、今年度の総所得が基準額を下回る見込みの方も対象になります。



ここをクリック!

教育委員会へのご意見などは「お困りごとポスト」
またはTEL：984-0608 FAX：984-0617でご連絡ください。

お困りごとポスト



ここをクリック!